

京都府3療士会協議会主催

# 第16回京都訪問リハ実務者研修会報告

2020年1月25日～26日に佛教大学で開催されました。

## 【1日目】

1. 京都府における地域課題 京都府健康福祉部 松本剛氏(行政)
2. ワールドカフェ～地域課題について

## 【2日目】

3. 最新ICTデバイスの現在地と将来の在宅での活用可能性について  
合同会社アグリハート 木村佳晶先生(PT)
4. リハロボット最新事情  
京さくら訪問看護ステーション/(株)シーエスロボタス 逢坂大輔先生(PT)
5. ビジネスが加速するスマートフォン活用講座  
有限会社ソーシャルサービス 藤田博之先生(介護福祉士)

# 京都府における地域課題

## ワールドカフェ～地域課題について

- 圏域別の人口推移やリハを必要とする疾病の患者数予測
  - 2013年 脳卒中 738人/日 →2025年 963人/日 30.5%増
  - 大腿骨骨折 448人/日 → 654人/日 46.0%増
- 要介護認定者数
  - 2013年 13.7万人 →2025年 19.7万人 1.4倍
- 医師・看護職員・介護職員がこのままでは不足

京都府保健医療計画や現状の講義を受けました。午後からはその講義を受けて、ワールドカフェ方式でリハ職が解決可能な課題抽出と取り組みを検討しました。

# 最新ICTデバイスの現在地と将来の在宅での活用可能性について

Keyword: 次世代・コミュニティ・ケア

- ICT? → ITとほぼ同義だが、Information and Communication Technologyと「Communication」という概念が入っている
- IoT機器 (Internet of Things) → インターネット経由でセンサーと通信機能を持ったモノ達

例) 超音波技術により膀胱内の貯留具合を把握し、排尿のタイミングの事前にスマホに通知する排泄予測デバイス

## • なぜICT化?

人口が減り、働き手が減り、高齢者や対象者が増え、担い手の人材確保が困難になってくるから



# リハロボット最新事情

- リハロボットの種類
  - 歩行測定のIoT化
  - リハ領域におけるAI活用
- 色々な産業ロボットの紹介をいただきました

# ビジネスが加速するスマートフォン活用講座

- Googleの活用
- Chatwork : グループチャットの活用

情報漏洩を防ぐ対策をしながら、スマホにとらわれずに過ごすようにとお話がありました。スマホの小技なんかも教えていただきました。

# 感想・まとめ

今回は京都府地域課題というおかたい内容でしたが、午後のグループワークではかなり盛り上がり、私たちリハ職のポテンシャルの高さが改めてわかりました。また、ICTに関しては、すごい速さで進化しており、便利なものというだけでなく、障害者や高齢者の生活の拡大や日々の業務の合理化・データ化にも今後必要不可欠になるものと感じました。とりあえずは研修後の3Dプリンターの衝動買いは抑制しました。